

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8441
住 所 東京都千代田区神田錦町1-25
氏 名 日清製粉(株)取締役社長 山田 貴夫
代理人 取締役工場長 天野 辰哉 印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日清製粉株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区大川町3-1		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	小麦粉製造業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		13,768 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第 1、2、4 号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021 年度)	第 1 年度 (2022 年度)	第 2 年度 (2023 年度)	第 3 年度 (年度)	目 標 排 出 量
排 出 量 (t -CO2)	(実) 27,064 (調) 27,444	(実) 25,900 (調) 27,189	(実) 25,754 (調) 14,200	(実) (調)	(実) 26,260 (調)
削 減 率		(実) 4.3 % (調) 0.9 %	(実) 4.8 % (調) 48.3 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量	挽 碎 数 量			原単位等の単位	t-CO2/トン
	基準年度 (2021 年度)	第 1 年度 (2022 年度)	第 2 年度 (2023 年度)	第 3 年度 (年度)	目標とした値
排出量原単位 等 の 値	0.04315	0.04164	0.04134		0.041868402
活動量の値	627,094	621,852	622,882		-
排出量原単位 等 の 削 減 率		3.5 %	4.2 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第 1 年度	省エネ施策(エア漏れ改善、製造工程の省エネ制御運転、コンプレッサー運転制御見直し 等)を実施し設備効率を上げた為、排出量と原単位はそれぞれ基準年度比4.8%、4.0%減少した。
第 2 年度	2023年度に太陽光発電設備による再生可能エネルギー電力の供給とともに、トラッキング付非化石証書を付与する、オフサイトコーポレートPPAを導入した。これにより、調整後CO2排出量をほぼ半減することができ、目標に大きく貢献した。
第 3 年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	①生産設備のエネルギー管理 ・製造工程における定風量バルブの見直しによるニューファンの適正化負荷管理を図る。 ・コンプレッサー排気ファンに対して個別ダンパーを設置し、ファンの負荷低減を図る - また、圧縮エアについて、エア流量の見える化を進め、省エネ推進を図る ・各職場におけるエア配管の継続的なエア漏れの洗出しとその補修の実施。 ・チラーやトランス等の高効率機器への更新。 ・ニューマエコ導入 ②照明・空調設備の運用 ・工場内の蛍光灯や水銀灯のLED化。 ・空調設備を高効率機器へ順次更新。
第 1 年度	①生産設備のエネルギー管理 ・サクシオンファンの集約化 ・コンプレッサー排気ファン個別ダンパー設置やエア流量の見える化。 ・各職場におけるエア配管の継続的なエア漏れの洗出しとその補修の実施。 ・チラーや高圧トランス等の高効率機器への順次更新。 ・製造工程の省エネ制御運転の実施（追加実施） ・コンプレッサー運転制御の見直し（追加実施） ②照明・空調設備の運用 ・工場内の蛍光灯や水銀灯のLED化。 ・空調設備を高効率機器へ順次更新。
第 2 年度	①生産設備のエネルギー管理 ・高効率コンプレッサーの導入 ・各職場におけるエア配管の継続的なエア漏れの洗出しとその補修の実施。（追加実施） ・高効率トランスへの更新。（追加実施） ②照明・空調設備の運用 ・工場内の蛍光灯や水銀灯のLED化。（追加実施） ・空調設備を高効率機器へ順次更新。（追加実施）
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他（オフサイトコーポレートPPA）	○	2023年度に太陽光発電設備による再生可能エネルギー電力の供給とともに、トラッキング付非化石証書を付与する、オフサイトコーポレートPPAを導入した。
その他（ ）		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	構内倉庫屋上に600kWの発電パネルを設置	2013年度
風力	厚生棟屋上に小型風力発電設備2台を設置(自社消費)	2008年度
オフサイトコーポレートPPA	太陽光発電設備による再生可能エネルギー電力の供給とともに、トラッキング付非化石証書を付与し、使用電力のすべてを実質再生可能エネルギーとする。	2023年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他（ ）	
EV、PHV、FCV	×	その他（ ）	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	・グリーン購入を継続する。 ・運送委託会社に対するエコドライブの実施の要請 ・社員に対する環境研修会の開催 ・2021年度の産業廃棄物排出量を2018年度比で3%削減する(619t→600t)
第1年度	・グリーン購入を継続する。 ・運送委託会社に対するエコドライブの実施の要請 ・社員に対する環境研修会の開催 ・エアコンフィルター清掃(追加実施)
第2年度	・社員に対する環境研修会の開催 ・エアコンフィルター清掃(追加実施) ・オフサイトコーポレートPPAの導入
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	27,064 t-CO ₂	25,900 t-CO ₂	25,754 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	13,932 KL	13,626 KL	13,768 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
日清製粉㈱ 鶴見工場	川崎市川崎区大川町3-1	27,064	25,900	25,754	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度